

ことば音楽療法が関西圏に広がっています！

第2回 ことば音楽療法 通学コース開講 一般社団法人 発達支援協会認定 ことば音楽療法士

● 特 徴

- ・短期にて取得可能（6日間）
- ・指導者も子どもさんも楽しく学べる音楽療法
- ・簡単なピアノ演奏（ラ・ソ・ミ）でことばの療育が可能
- ・音楽を使用した『ことばの療育』は他に無し
- ・長年（25年）の研究にて培った療法

● 日 程

平成29年 3月26日（日）
／4月2日（日）・9日（日）・30日（日）
／5月7日（日）

※6日目は名古屋にて堀田喜久男氏（創始者）より直接指導を致します

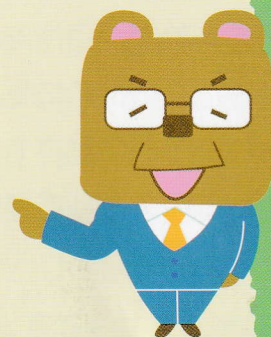
● 受講料

250,000円（教材、認定料 全て含んでいます）※4月料金改定
2月末日までの申込みは上記料金にて対応

● 会 場

東大阪

・詳細は『ことば音楽療法』検索



INDEX

● ことば音楽療法が関西圏に広がっています！	1 ページ
● ごあいさつ／堀田喜久男	
● 第5回 日本ことば療法学会 開催(福岡)	2 ページ
● 「変わる世の中、明日はいずこへ」／横浜支部長 高橋亮太郎	3 ページ
● 「堀田メソッドで発語！感涙！」／宮本裕子 ● 商品紹介	4 ページ
● 「『自分とこども』のやりとりを振り返る」／徳田和恵	5 ページ
● 「30余年ぶりの再会」／後藤浩子	6 ページ
● <コラム10> 穴戸理恵 ● 2017年セミナー情報	7 ページ
● 認定校・認定教室	8 ページ

ごあいさつ

日本ことば療法学会 委員長
堀田 喜久男



各地で『ことば音楽療法』の基礎セミナーが開催されています。関西地方では年に数回、北九州地方では2～3回、関東地方や中部では以前から何回も、最近では徳島（四国）で行われ、多くの方が参加受講されました。ことば音楽療法士の資格を修得され、放課後ディサービス施設や地方自治体の施設や自宅の一室で曜日や時間を決めて、セッションされている方も増えてきました。また、指導者がお互いに協力してグループで団体や個別セッションをされている所もあります。地域の強い要望で放課後ディサービスの施設を作って活動されている所もあります。障害児のお母さんが資格を修得され、お子さんやグループの子たちのために活動されている方もみえます。特別支援学校、学級の先生が指導に取り入れようとの動きも出てきました。このように、年を追って実践指導者が多くなり、仕事として職業として進展していることを嬉しく思います。

■ 第5回 日本ことば療法学会 開催(福岡) ■

日時：平成29年6月10・11日（土曜日・日曜日）
会場：福岡市内

第5回 日本ことば療法学会は九州の地（福岡）にて開催致します。全国各地に発達支援事業者（施設）も増え、特別支援学校や学級にも専門職の職員の方が少しずつ携わるようになり、障害児を抱える親御さんにとって環境は整いつつあります。しかし子どもさんの成長を考える際の言葉（発語）の指導教育・療育が不足しているのが現状です。自閉症やダウン症などによる知的障害や感覚障害やコミュニケーション障害などのため、効果的な指導法が少なく指導に当たる療育者・指導者が指導に悩んでいるのが現状です。そのような方々に向けて日本ことば療法学会がことばの指導法情報を発信することは大変意義のあることだと思っています。



第4回 日本ことば療法学会の様子

目的：

当学会は障害児・者のことばの療法を調査・研究、発表、実践を通して療法の普及並びに増進を図り、障害児・者のことばの獲得、言葉によるコミュニケーション能力を高めることを目的とする。

事務局



～ 変わる世の中、明日はいずこへ ～

横浜支部長 高橋 亮太郎

もうすぐ2016年も暮れようとしています。ことば療学会の皆さま、本年もお疲れさまでした。今年は何が最も印象に残っているのでしょうか。リオ五輪で見た歓喜と無念の涙、英国民と米国民の衝撃の選択、高齢ドライバーによる連日の交通事故… いずれも目に見える出来事としてインパクトを残しました。こうしたことは突然起きたようでいて、実は日々進行しているものがある日、大きな形を伴って私たちの目の前に現れます。

私の住む神奈川県ではご存知のように元職員による施設入所障害者の大量殺人が起きました。その供述からして、彼の中で障害者は「別世界の人たち」という存在だったと思われれます。その意識が醸成されるには様々な経緯があるのですが、障害者はそんなに遠い存在でしょうか。仮に健常で生まれても事故や後天的な病気で脳や身体に障害を背負って生きている人々も多いのです。例として、交通事故は昨年約53万件、脳卒中は毎年30万人近く。こうした事情で入院・入所になった方々がその直前まで普通に過ごしてきたことを思えば、健常者と障害者にある距離というのは、実はかなり短いものなのかもしれません。私たちだって生きていれば一定以上の確率でなんらかの障害を負う日が来るでしょう。誰もはずっと現在のまま生きるというわけには行かないのです。ただし、万が一の時にも健常者が障害者を差別しない世の中であるのがわかっていれば、安心して今を生きることができます。

平家物語の冒頭に有名な「諸行無常」ということばがありますが、人が変わるように環境も変わり、国だって変わります。たとえば英国は、かつて議会制度や工業生産、生活水準で日本のはるか先を歩む大先輩でした。7つの海を制覇して世界に君臨しましたが、第2次世界大戦後の国際社会では英国病などといわれ失業者が溢れて没落を経験した国です。じゃあもうこの国には何もないかという逆で、障害の分野を見ても先進的なLD教育、クスリを使わないうつ病治療、一般市民が障害者へ向ける有形無形の思いやりなどなど、日本が学ぶところは多いにあります。

そんな英国や、最近失業率が低かった米国で、地方の白人高齢者がEU離脱や大統領選で世界の子想を覆す原動力となりました。結果の良し悪しは別として、既に彼らがあればほど追い詰められていたとは多くの識者も予想できませんでした。

人が変われば環境も変わる。その拡がりや国を変えるのであれば、人のポジティブな変化は国を良いほうへ変えるでしょう。障害を持つ児童も成長します。私たちの前にいる児童も速度の差こそあれ、明日・来月・来年は目に見える・見えない何かの能力を伸ばしているはず。私たちの仕事が適切な支援と刺激となってその成長の一助になるような1年になるよう、2017年も共に頑張っていきましょう。

堀田メソッドで発語!感涙!

どれみだんけ川崎
宮本 裕子

大阪で展開している「どれみだんけ」の関東支店として「どれみだんけ川崎」を開所して8か月が過ぎました。人口の多い川崎ですが、未就学児のための支援所はとても少なく、保護者の皆様から多数の問い合わせをいただいております。

月曜日と金曜日は音楽療法士の高橋先生にも助けていただき、堀田先生のもとで学ばせていただいた仲間と、11月時点で週40コマを超えるレッスンをさせていただいております。生徒ひとりひとりに合わせたレッスンを考えることは難しくもあり楽しくもあり、試行錯誤の日々ですが、発語をし始めた時の喜びは言葉にできないほどの感動です。

3・3・7拍子の、最後の一拍のみの発語しか出なかった生徒が、2音節3音節と発語していき、今では「あっちゃん」の絵本と一緒に読んでくれるようになりました。思わずレッスン室から「お母さん!聞きましたか!」と叫んでしまったほどです。まだ発語のできない生徒も、家に帰って「♪ウンチャ〜…」のリズムを、鼻歌で歌いながら手を叩いていると、お母様が教えてくれました。

毎日が、壁と喜びの繰り返しです。もっと関東地方に堀田メソッドが浸透していくように邁進し、生徒と共に成長していきます。

商品紹介

● CD
ラミ伴奏(ピアノ)CD
2,500円



きらきら言音堂

検索

ピアノの苦手な方や
子どもと一緒に楽しみたい方!
貴方は伴奏に合わせて歌うだけ!

速さも3種類! : ♪ = 100・115・130

● 3つの大きさが揃いました オノマトペカード

- A4 (団体セッション向き) 8,500円
- A5 (個人セッション) 4,000円
- ハガキ大 (携帯用) 2,500円



全6種類

乗り物10枚 自然8枚 動物23枚
部位9枚 表情6枚 遊び14枚
70枚 (厚紙使用)

日常生活の中ではオノマトペを多く利用しています。オノマトペは様子・動作・感情などを簡潔的に表し、情景をより感覚的に表現させることの出来る方法です。発音しやすくして(繰り返しが多い)イメージしやすいので効果的に使うことができ、ことばを増やすには効果的です。



「自分と子ども」のやりとりを振り返る

言語聴覚士・臨床発達心理士

徳田 和恵

「私たちは他人を通してのみ自分自身となるのであり、そのことは人格全体に対してだけでなく、すべての個々の機能の歴史にも当てはまるということができよう（ヴィゴツキー、柴田訳）。」

私たちは、ある子どもさんを取り巻く他者の一人として、その子どもと巡りあうことができます。私たちにとって、巡り合った子どもは、私たち自身の発達に寄り添ってくれる他者です。私たちも子どもを通して自らの力を高めていきます。

子どものために自分を高めたいと望んだとき、私たちは新たな知識や技能の吸収に貪欲になります。その時に気を付けたい落とし穴に注意。高くへという意欲を持ちつつ、自分と子どものやり取りの軌跡を必ず確認していきましょう。

振り返って、反省と懺悔という意味ではありません。子どもの伸びや、自分の願いといったものだけでなく、事実を振り返りましょう。これは、客観的に自分と子どものやり取りを観察することで可能になります。観察するのは「わたし」、観察する対象は「わたし」と「子ども」です。

「わたし」と「子ども」のやり取りの実際を、自分の記憶や記録の中に掘り起こして、検討し、修正が必要か否かを確認していきましょう。

多忙なスケジュールでは、丁寧な記録を取る時間もままならないこともあると思います。しかし、子どもと自分のやり取りを、どちらが先に仕掛けて、あるいは、受け止めて、やり取り(ターンテイキング、turn-taking)がどのように続き、発展したか、終結したか、時系列で思い出すことができれば大丈夫です。ターンテイキングの中での自分の行動を客観視できれば、今後、自分の行動の修正も、指導力のアップも可能です。そして、「わたし」の側の修正を受け入れてくれる子どもに感謝！感謝！です。

第4回『日本ことば療法学会』講習会にて提出頂いたレポートへのメッセージ！

皆様、嬉しいレポートを有難うございました。読ませていただき、伝えたいことを受け止めていただき、そして、さらに新しいことばで投げ返されて下さり、と感じ入ることの連続でした。いわゆる定型発達とよばれる発達の様相を把握していただくことができたと思います。こうした知識を背景として、さらに皆様の感性に磨きをかけて、日々子どもさんたちとの時間を大事に過ごしていけますように。

次回の第5回日本ことば療法学会 講習会(福岡開催)では、指導のスキルアップに活かせるような内容にしたいと、準備に専念いたします。あれだけの時間で理解していただく、というのは、よほど、真剣勝負で聞かれたのだらうと思っています。

30余年ぶりの再会

後藤浩子

この秋、私が非常勤で勤務している大学の講義初日のことです。

資料室にコピーのことでたずねると、係りの方が、コピーカードを渡してくれました。その方とどこかで会ったような、そんな気持ちしながら、コピーをすませ、カードを返却に行きました。すると、その係りの女性が「川島先生じゃないですか?」と。「かわしま」は私の旧姓。その女性のご自分の苗字を言われた瞬間、私は目の前の女性に「〇〇ちゃん」と名前呼びかけていました。6歳の卒園式にお別れして以来30余年ぶりの再会でした。

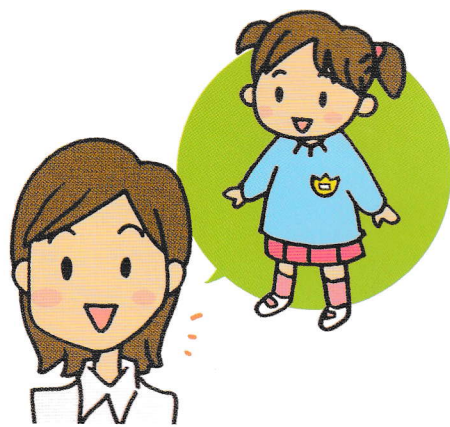
「大きくなって。りっぱになって。」と私。そして「〇〇ちゃん、3月生まれだったよね?」(子どもの生まれ月を覚えているのは“幼稚園の先生あるある”だそうです。)

〇〇ちゃんの幼稚園での様子が思い出されて、小さい時の声まできこえてくるようでした。あの頃、おしゃべりをそれほど活発にはしないで、みんなの様子をじっと見て行動していた〇〇ちゃん。あの子がこんなにしっかり仕事をしている!!感激でした。

大学をでてすぐ、幼稚園の新米先生だった時に担任としてもたせてもらったクラス。今考えると、顔から火がでるぐらい、下手な保育。子どもの心もわからなかった毎日。保護者の方々はどのように感じておられたのか、申し訳ない日々。でも、一生懸命だったあの頃。新米の先生だったころ、保護者に「1日に一回5分でも、お子さんをひざに抱いて絵本を読んでくださいね。」と言っていたことを思い出します。実際に自分が母親になってみると、1日にたった5分という時間すらとれない現実に気づきました。お母さん方に何を言っていたんだろうと申し訳なくなります。でも信じて言えたのも事実。

年齢が若いからこそできること、年齢を重ねたからこそできること。それをつくづく感じます。様々な年齢の先生がいることって、とても大事ですね。さて、〇〇ちゃんと今度ゆっくり話をするようになりました。とても楽しみです。若気の至りを今更ながら直面するのは、ちょっぴりこわいような…です。卒園式のとき、新米先生の私は大泣きしながら「これからは、みなさんの成長を見守るたくさんの人の一人に加えさせてくださいね。」と挨拶をしたことなどが思い出されました。

今、乳幼児期～子ども時代をすごしておられる方たちも、いろいろな人と出会って成長されることでしょう。出会った人たちが皆、みなさんのことを応援していることでしょう。



コラム10

穴戸 理恵

先日、在住している愛知県岡崎市にある自然科学研究機構「基礎生物学研究所」の一般公開に息子と出かけた。こちらにオートファジー研究でノーベル賞を受賞した大隅良典教授が13年在職し、研究生活をされたということで、沢山の見物者で賑わっていた。

売店コーナーにいろいろな書籍が売られていて、私用に別冊ニュートンの「脳とニューロン」息子には生物学の本をと買って来た。

脳の本の内容はどれもとても興味深いものだが、「感情をとまなう出来事はよく記憶される」また、ことば音楽療法での形容詞、文法を身につけるときにも使うようなことばだが、「バナナは黄色い」というのは元の記憶から抜き出された記憶。ということも書かれていた。バナナを食べ、おいしくてそれが黄色。それをくりかえす中、バナナは黄色いということが共通事項として抜き出されるということです。（意味の記憶）

現在セッションで、白とクマをつなぐ白いクマの「い」が出ており形容詞の内容をたくさん行っているが、子どもさんの生活そのものの中の体験をよく捉え、意味付けし、感情を伴いながら身につけさせることを保護者の方にお伝えする必要性を感じる。ことばが増え、意味がわかり、簡単な絵本を自分で読み始めている子がいる。ことばの音楽療法が効果的で伸びてきているのでセッション回数を増やしてと言われることもある。

セッションだけでなく、生活の場全てに体験、感情、記憶を伸ばす機会が満ち溢れている。それらの生活の中のチャンスを逃さず、ことばの音楽療法のイントネーションを使い身につけさせていきたいものだ。よく話し、よく笑い、いろんな体験をするためどんどん出ていく、未来へと少しでも楽しみながら前進していけることを願っている。もっともっと日本中に「ことばの音楽療法」を皆で広めていかなければならない。



2017年セミナー情報(予定)



※平成28年11月20日 福岡・宗像でのセミナーの様子

■ ことば音楽療法 基礎セミナー ■

- 基礎セミナー（東大阪）：1月29日(日)
- 東京近郊 2回
- 福岡県 2回
- 兵庫県 1回
- 四国 1回
- 神奈川 2回
- 愛知県 2回
- 大阪府 4回

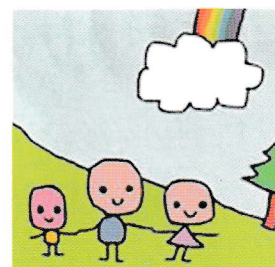
* ことば療法士のポイントセミナーです。

認定校

- 1 名古屋市【発語音楽研究所】
療育責任者：堀田喜久男（発語音楽療法←検索）
- 2 東大阪市【どれみ だんげ】
療育責任者：深谷靖子（どれみだんげ facebook）

認定教室

- 1 埼玉県【加藤音楽教室】主宰者：加藤千子 HP：<http://syougaiji-ongakukato.jp/>
- 2 大阪府【さゆり音学院】主宰者：土田靖子 HP：<http://www.seepa.jp/u/hatugo-oosaka/>
- 3 愛知県【SiSiDo Music room】主宰者：穴戸理恵
HP：<http://www.seepa.jp/u/piano-hatuhgo/>
- 4 京都府舞鶴市【でんでんむしの会】 松浦光子
- 5 三重県【樋口音楽教室】 主宰者：樋口なおみ
- 6 福岡県行橋市【ことばの音楽教室】 主宰者：工藤知子
- 7 福岡県遠賀郡『りずむの木』 主宰者：石井純子
- 8 京都府舞鶴市『さがん発語音楽教室』 主宰者：目美香
- 9 大阪府枚方市『安宅ことば音楽療法教室』 主宰者：安宅千世子
- 10 東京都江戸川区ことば音楽療法『あ・い・う・え・お』 主宰者：嬉 利恵
- 11 愛知県碧南市『ひだまり』教室 主宰者：小笠原清恵
- 12 福岡県行橋市長木『ことばの♪パッソ♪』教室 主宰者：松尾範子
- 13 兵庫県芦屋市『きじ猫 音楽工房』 主宰者：上野奈央
- 14 愛知県常滑市『長鎌音楽教室』主宰者：長鎌明美



認定校：どれみだんげ



発語音楽研究所

ことば音楽療法士 認定者 ▶ 106名（受講中も含め）H28年11月現在

ことば音楽療法の認定校・教室です。教室か事務局にお問い合わせください。
認定校・認定教室を全国にて募集しております。 TEL & FAX：052（505）5255

一般社団法人 発達支援協会 事務局

〒452-0821 名古屋市西区上小田井2-98 JHTA内 TEL & FAX：052（505）5255

ことば音楽療法 日本ことば療法学会

検索